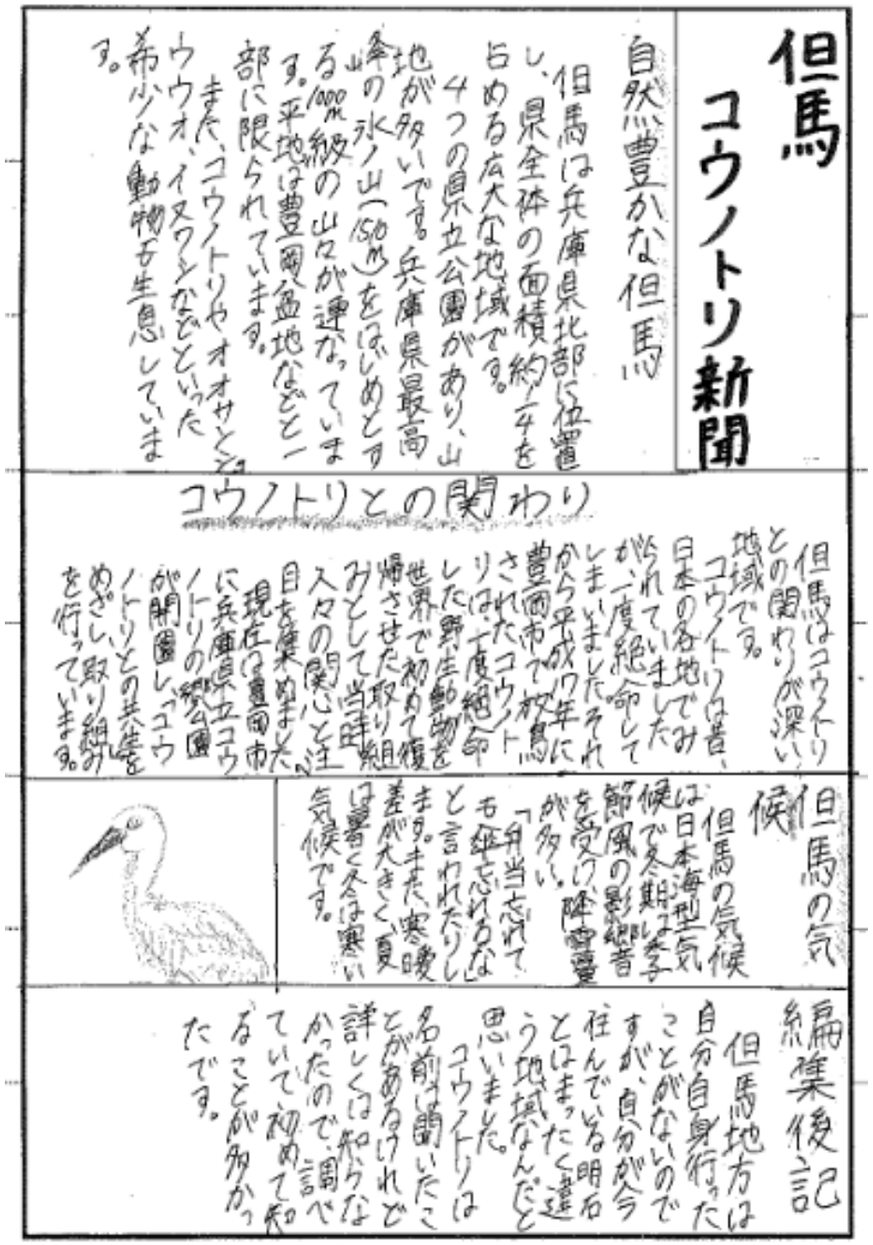
The best relationship

第一学年通信No83

～最高の仲間たち～

2018,1,15.

『但馬レポート』　をいくつか紹介します　　Ｎｏ３



但馬

コウノトリ新聞

自然豊かな但馬

但馬は兵庫県北部に位置し、県全体の面積約1/4を占める広大な地域です。

4つの県立公園があり、山地が多いです。兵庫県最高峰の氷ノ山(1510m)をはじめとする1000m級の山々が連なっています。平地は豊岡盆地などと一部に限られています。

また、コウノトリやオオサンショウウオ、イヌワシなどといった希少な動物も生息しています。

コウノトリとの関わり

但馬はコウノトリとの関わりが深い地域です。

コウノトリは昔、日本の各地でみられていましたが一度絶命してしまいました。それから平成17年に豊岡市で放鳥されたコウノトリは一度絶命した野生動物を世界で初めて復帰させた取り組みとして当時入々の関心を注目を集めました。

現在は豊岡市に兵庫県立コウノトリの郷公園が開園し、コウノトリとの共生をめざし、取り組みを行っています。

但馬の気候

但馬の気候は日本海型気候で冬期は季節風の影響を受け、降雪量が多い。

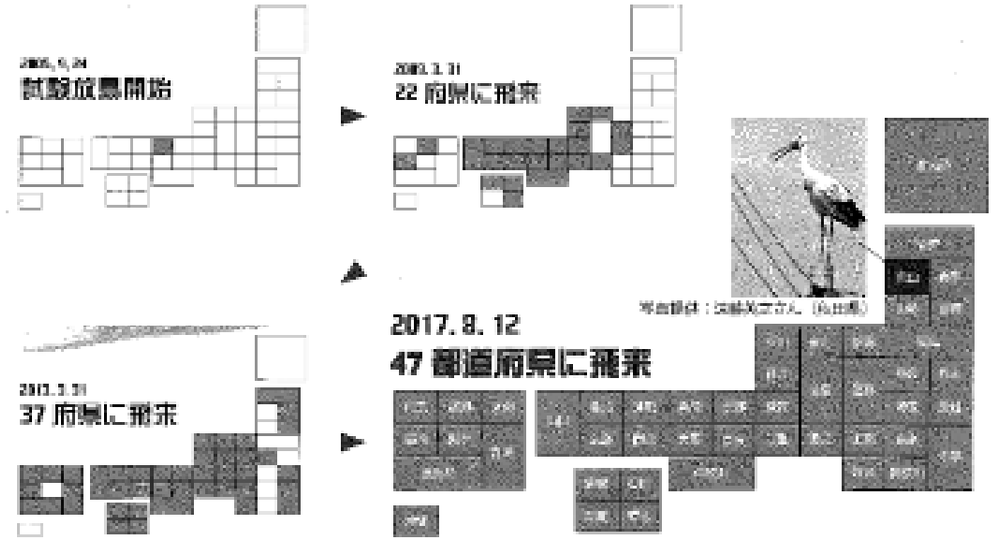
「弁当忘れても傘忘れるな」と言われたりします。また、寒暖差が大きく、夏は暑く冬は寒い気候です。

編集後記

但馬地方は自分自身行ったことがないのですが、自分が今住んでいる明石とはまったく違う地域なんだと思いました。

コウノトリは名前は聞いたことがあるけれど詳しくは知らなかったので、調べていて初めて知ることが多かったです。

一九七一年に野生最後の一羽が死に、日本の空からコウノトリは姿を消しました。豊岡が最後の生息地でした。かつて、あたりまえに見られたコウノトリのいる風景を取り戻すため、二〇〇五年から但馬で始まった野生復帰。当日、見ることができるでしょうか？



兵庫県の県鳥に指定されている『コウノトリ』
コウノトリの試験放鳥が始まって以来、野外コウノトリの数は着実に増え、ついに１００羽を超えるまでになりました。

しかし、１００羽に達した陰で、実はあまり知られていない事実があります。それは、人間活動に起因してケガをしたり、死亡したりするコウノトリが少なからずいることです。
2016年４月以降だけでも、１９羽が野外でケガをするなどして救護されています。

飛来した都道府県数も増加し、昨年８月，最後まで確認されていなかった秋田県で確認され、これで47都道府県のすべてでコウノトリが確認されたことになりました。
コウノトリの
《全国へ、そして世界へ》
という合言葉の取り組みが形となりました。

兵庫県立コウノトリの郷公園
キコニアレター　Ｎｏ13　より